

## MIE-U 国際交流協定校外国人若手教員受入れプログラム

- **ダイバーシティの促進**  
本学と国際交流協定を締結している海外大学から、年間2名の外国人若手教員を受け入れ、本学で教育・研究活動を行う。多様な背景と経験をもつ外国人教員の受入れにより、新たな価値創造の機会をもたらす。
- **外国人教員と本学学生との交流**  
本学学生が、研究や授業を通して外国人教員と交流することで、教員が学生の就学・生活上の手本となり、国際的な能力を兼ね備えた人材の育成に貢献する。また、それらを英語によって行うことで、学生の国際経験を培う。
- **研究分野における意見交換**  
本学との国際共同研究の推進に期待。また、プログラム終了後も相互交流できる関係性の構築と、それに伴う優秀な外国人留学生の獲得を目指し、研究を発展させる。

### 【概要】

本プログラムは、海外の協定大学から若手教員を積極的に受け入れることにより、本学の国際化の強化、研究力を向上し、学部・研究科ビジョン2030の達成に向けて取り組みを加速させると共に、協定大学との関係性を深め、国際交流を活性化させることを目的とする。

### 【今後の展望】

将来的に、優秀な外国人留学生の大学院での受入れを定着化し、これからの三重大学の原動力となる地域の成長・発展を支える人材の育成・獲得を目指す。



辞令交付の様子

### <本件に関するお問合せ>

三重大学 国際・情報部

国際交流チーム

TEL: 059-231-5391

E-mail: koryu@ab.mie-u.ac.jp

## 三重大学との国際交流協定締結大学・機関

### 大学間協定

24カ国・地域  
72大学・機関

### 学部間協定

24カ国・地域  
46大学・機関

### 総数

33カ国・地域  
118大学・機関

令和6年5月1日現在

# 国際交流協定締結機関 International Partner Institutions



◎大学間協定締結機関  
24カ国・地域 72大学・機関  
University Level: 23 Countries/Areas, 72 Institutions  
●学部間協定締結機関  
24カ国 46大学・機関  
Faculty Level: 24 Countries, 48 Institutions

総協定大学数  
33カ国・地域 118大学・機関  
Total of 33 Countries/Areas,  
118Institutions

2024年5月1日現在  
As of May 1, 2024

# MIE-U 国際交流協定校外国人若手教員受入れプログラム

海外大学



本学と国際交流協定を締結  
締結見込み、学部間協定も可

教員(講師、助教)



三重大学



- 雇 用 枠 毎年度**2名**
- 任 期 **1年以内**
- 給 与 年俸制
- 所 属 三重大学国際交流センターに所属  
学部・研究科を兼務
- 職務内容 兼務先にて教育・研究の業務にあたる  
診療業務は含まない
- そ の 他 任期終了時まで、原則として**若手教員  
(39歳以下)**であることが望ましい



所 属	パジャジャラン大学(大学間協定)
所 在 地	インドネシア
職 名 等	講師・33歳・女性
専 門 分 野	森林科学(主に森林生態学・土壌学分野で業績を積む)
特 徴	<p>専門分野においてビッグデータの解析を通して理解することに長けており、生物資源学研究科のビジョン2030のうち、教育分野に掲げられている「フィールドDX 教育の推進と現場実践力を涵養する教育体制の充実」に統計学の分野を中心に大きく貢献出来る。</p> <p>また、研究分野に掲げられる「生物資源を核として山の頂から海の底までを科学する」のうち、山の領域を得意とし、本研究科の持つフィールドサイエンス研究の強みを伸ばすことが出来る。</p>
任 期	令和6年5月1日～令和7年2月28日
本学での所属	三重大学国際交流センター 講師 生物資源学研究科(兼務)
本学での活動	昆虫生態学研究室で研究 生物資源学部および研究科の授業を英語で担当



所 属	ダナン大学(学部間協定)
所 在 地	ベトナム
職 名 等	講師・38歳・女性
専 門 分 野	電気化学及び光触媒
特 徴	<p>豊富な国際経験と本学との交流歴。                  ダナン大学を卒業後、オーストラリアで修士号および博士号を取得。                  令和5年9月に本学で開催された工学部国際シンポジウムで招待講演を実施、工学研究科博士前期課程の国際特別講義Ⅰを担当。その際に、本学教員との研究ディスカッションや学生および教員と交流の経験がある。                  令和5年度の三重大学学生海外チャレンジ応援事業に採択された学生の受入教員としてダナン大学における研究指導を担当。</p>
任 期	令和6年10月1日～令和7年5月10日
本学での所属	三重大学国際交流センター 講師 工学研究科(兼務)
本学での活動	無機分析化学講座で研究 研究室において学生の研究指導

採用者①受入教員より回答

## 本学での活動

森林の生態学や鉱山跡地の土壌汚染の回復に関する研究を行っています。  
現在、国際林業研究機関連合（IUFRO）の大会がスウェーデンのストックホルムで開催されており、同連合からの全面的な旅費の支援を受けて、それに参加されています。  
三重大学での本格的な研究は帰国されてからの予定です。

## 国際化の強化、研究(授業)力の向上等が図られているか

5月に来日されてから、1年生向けの国際協力関連の授業で講義をしていただいています。  
これは、海外、特にいわゆる発展途上国の環境問題を考える良いきっかけになっています。  
このほか毎週農業生物学演習(昆虫生態学分野)に参加して学生の発表に活発にコメントをいただいています。  
このため、同演習は全て英語で行っています。  
強制的に英語でのやりとりをするほか、プレゼン資料も全て英語ですので、学生も英語の勉強に取り組んでおり、国際化に大いに役立っています。  
今後、研究科内のFD活動としての研究紹介、さらには後期の授業の分担などで、より多くの学生・教員と関わって、国際化を進めていきます。

## その他、上記以外で気付いた点等(生物資源学研究においてプラスになった点等)

留学生、特に東南アジアからの留学生にとって身近な目標、相談相手が出来ており、外国人教員の存在は非常に有益であると感じています。

